



移住して約半年を振り返る



地域おこし協力隊について

人口減少、高齢化等の進行が著しい本市において、地域外の人材を招致し、その定住を図るとともに、地域力の維持及び強化を行うため、地域おこし協力隊を導入しています。活動内容等はSNS等をご覧ください。

R3.9	1名 (農業部門)	中村
R3.10	1名 (肱川地域)	岡本
R4.4	1名 (肱川かわまちづくり)	杉井
R4.5	1名 (農業部門)	山本
R5.4	1名 (農業部門)	※予定

連絡先

大洲市農林水産部 農林水産課
農商工連携係 (担当：久世)

TEL | 0893-24-1727

MAIL | yuuka.yamamoto@city.ozu.ehime.jp



Instagram



Facebook



大洲市HP

活動報告

5月

大洲市へ転入 挨拶まわり 地域訪問

地域起業応援スクール研修の一環
メンターの地域訪問

うつくしい樫谷棚田



7月

かとう旬菜畑研修 西予市協力隊マルシェ出店 プランニング研修 (1回目) 地域起業応援スクール (実践編) イチジク研修 地域訪問

かとう旬菜畑での農作業

イチジク芽かき作業



9月

県内外農家民宿訪問 プランニング研修 (2回目) 都内食料品店インターン (予定) 地域訪問



©FOOD&COMPANY



大好きな蔵川地区の景色



研修にて、3年間の活動計画を中間発表

6月

県外農家民宿訪問 地域起こし協力隊初任者研修 農村プロデューサー養成講座 地域起業応援スクール 地域訪問

内子町小田地区にある「どい書店」を訪問



柳沢地域を訪問



8月

かとう旬菜畑研修 地域起業応援スクール (実践編) 地域訪問

地域の区長会にてご挨拶

大洲市青年農業者協議会の活動



情報収集・地域訪問

大洲市誌等を読むことから始め、週末に図書館に通う日々がしばらく続きました。

様々な地域に訪問を重ね、住民の方々と直接お話しすることで地域色を知ることができました。

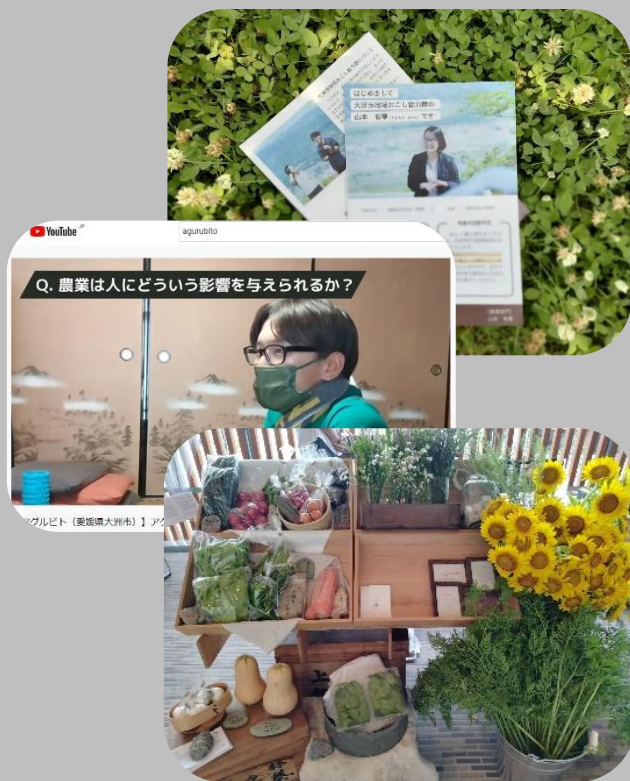
まち歩き研修を組んでいただき肱南地区の歴史や観光資源を見学しました。かつて観光客として眺めていた肱南地区とはまた景色が違って見えるのは、当たり前ですが不思議で、感慨深いものです。



情報発信

毎週のSNS配信、協力隊便りの作成、月一度のブログ更新やYouTube用動画の作成は、広報の経験が乏しい分、初めは大いにとまどいましたが、随分と抵抗がなくなってきました。

7月は中村隊員と一緒に、西予市協力隊マルシェに出店し、大洲市の協力隊の活動内容を発信しました。当日は、夫がお手伝いをさせていただいているかとう旬菜畑さんの野菜と、緑肥として植えているひまわりを販売しました。



他にも...

農作業体験

作業の合間を縫って、様々な形態の農家の方に作業体験に呼んでいただきました。とてもありがたく、貴重な体験です。

研修

愛媛県は地域おこし協力隊向けの研修が充実しており、繋がりが増えるとともに、よいブラッシュアップになります。

協力隊OGOB訪問

多様な分野で活躍されているOGOBが近くにいらっしゃり、移住していなければ会えなかった貴重な縁に感謝しています。

もう一度、「なぜ大洲なのか」

移住先を大洲に決めたのは、2021年12月です。それから取り巻く全ての環境が一変しました。全く経験のない世界に飛び込み、大げさではなく、人生の第二章の始まりを感じています。

移住して約半年。ここで改めて「なぜ大洲なのか」について、移住前といまの気持ちを振り返ってみます。

移居前 = 客観的な事実が多い

- 複雑な成り立ちの四国に魅力を感じた
- 海と川がある
- 多品目が栽培可能
- 観光資源が豊富
- マチナカが活動的

移住後 = 直感的な理由 (個人的な思い入れ)

- 山に囲まれた大洲の景色が好き
- 山からの景色も好き
- 自転車で走っているだけで元気になれる
- 空気と水がおいしい
- 親身になってくれる優しい地域の方々
- 古いものを保存する気風がある

月日が経つにつれて直感的な理由が増えています！

今後の活動予定

以下の活動を継続し、移住する地域を決定します。

①地域分析

地域訪問を重ね、あと半年ほどで移住する地域を決定します。市内の中山間地域への移住を希望しています。農地や空き家情報を引き続き募集中です。

②各種研修

県等が主催する地域起こし協力隊向けの研修を始め、小売の経営を学ぶため、都内の食料品店にインターン予定です。

③新規就農支援・6次産業/グリーンツーリズム支援